

学力向上に効果のある取組事例

別府市立朝日小学校

⑪小学校教科担任制の推進

取組の具体

○2025年度朝日小学校教科担任制の概要

・5年生(現6年)3クラス 外国語(専科教員)

国語・算数・理科(1学期のみ専科教員)・社会・図工・家庭科・音楽
(学級担任による交換授業)

・6年生(現中1)4クラス 外国語(専科教員)

国語・算数・理科・社会・図工・家庭科(学級担任による交換授業)

※5, 6年生を中心に教科担任制を導入し、6年が経過をしている。実施教科は人員配置等によって年度ごと変更。

○教科担任制によるメリット

①児童理解の広がり

これまで学級中心の学年集団だったものが、どのクラスにも各担任が授業に入るため、複数の教員で児童の学力傾向や日々の変化を把握できる。

②教材研究の深化

同じ内容の授業を複数回行うため、教員の教材に対する理解が深まり、授業改善が短い期間でできる。

○教科担任制推進にあたっての校内での工夫

①教職員間の連絡体制

授業中の様子や配慮を必要とする子どもの情報交換を密に行う。週に1回、学年会を開いたり、日常的に情報共有したりして授業進度や学習の様子などの共通理解を図る。

②学習・生活ルールの共通化

持ち物や学習のきまりを常に子どもたちとも確認し、指導や意識が担当によって違いがないようにしていく。

③校内研究の推進

互見授業を通して、授業展開の共通化や子どもたちにつけたい力を共有していく。



英語専科教員による授業



校内研究の推進